墨田区議会 Liberal Democratic Party 自由民主党だより

2017 1 January

■発行／墨田区議会自由民主党（墨田区吾妻橋1-23-20）
■発行責任者／沖山 仁　※ご意見・ご要望をお待ちしております。
ホームページもチェック! http://jimin-sumida.jp/

上段左より　松本ひさし　しもむら緑　中沢えみり　加藤　拓　佐藤あつし　坂井ユカコ

下段左より　樋口　敏郎　田中くにとも　たきざわ良仁　沖山　仁　坂下　修　木内　清　福田はるみ

2017

背景の色鮮やかな屏風は、北斎画を参考に、墨田みどり保育園の卒園児が描き、屏風職人の片岡恭一氏が仕立てて下さったものです。

新年あけましておめでとうございます。

議長あいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新たな観光拠点「すみだ北斎美術館」の開館が国内外へ発信され、本区の知名度を高める絶好の機会となりました。また今後10年間の区政の羅針盤と言える新基本計画が策定されました。

本年は区制施行70周年の節目を迎えます。より開かれた議会を目指し議会改革を一層進め、区民の皆様が安全で安心して暮らせる「すみだ」づくりに全力で取り組んで参ります。皆様の変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。

墨田区議会議長
坂下　修

幹事長あいさつ

明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。

昨年は今後10年間の基本計画が策定され、また会派が真剣に議論してまいりました「すみだ北斎美術館」も無事開館の運びとなりました。日本のみならず、世界中に本区をPRする機会となった年でもありました。

本年も基本計画の着実な推進を図り、直面する様々な行政課題に会派一丸となって取り組んで参ります。本年も引き続きのご支援を、心よりお願い申し上げます。

墨田区議会
自由民主党幹事長
沖山　仁

行動します！ We Take Action

大横川親水公園南詰を利用した保育施設が完成

我が会派は平成28年度予算案に「保育所入所待機児童の早期解消に向けて、未利用地や公有地を活用し、新たに保育所を設置するなど、平成28年度中に、緊急対策を講じること」という付帯決議を付け賛成しました。これを受け、12月1日、親水公園に小規模保育所が、八広に一時預り・定期利用保育施設が開園しました。

実現

錦糸町駅南口交番前に第三種自転車駐車場が開設

錦糸町駅周辺の放置自転車については、早期に改善するよう要望して参りました。これを受け、錦糸町南口交番前に、第三種自転車駐車場（19台）が整備され11月1日より、供用が開始されました。今後も、放置自転車解消に向け、全力で取り組んでまいります。

実現

違法民泊対策として許可した宿泊施設の公表を開始

民泊とは、個人が住宅等を利用して有料で宿泊させるサービスのことです。運営にあたっては、旅館業法の許可が必要です。しかし近年、違法な民泊が増え、それに伴って苦情件数も増えていることから、対策の一歩として、区内にある許可施設の一覧表を、区のホームページに新たに追加することになりました。

実現

すみだ北斎美術館開館後の状況

進行中

11月22日にすみだ北斎美術館が開館しました。国内外のメディアに幅広く紹介されたほか、記念式典には各国大使館関係者の方々も多数出席して下さいました。寄付金の総額は6億円を超え、開館記念展の入館者数は開館1カ月を待たずに当初目標をクリア、4万人超（12月15日現在）となっています。

NEWS 2月26日 東京マラソン2017がすみだを走ります!

第四回定例会が開催されました。

［代表質問］

墨田区議会議員
佐藤 篤

待機児童の解消を

問 来年度予算編成にあたり、墨田区待機児童解消計画の現時点での進捗状況と達成見込みは。

答 平成28年度に３００人、平成29年度に５００人の保育定員拡大を目標としており、２か年で８００人の目標を達成できる見込みである。

在宅子育て支援事業の充実を

問 本区の認可保育所にかかるコストは、平成27年度決算で区費負担額約80億円で児童１人あたりの区費負担額は約１７０万円である。他方で在宅子育てを支援する一時預かり事業や子育てひろば事業の決算額は約14億円であり、緊急的利用を除くと児童１人あたりの区費負担額は、約２０００円から最大約８万円である。施設での保育と在宅での子育て支援では、その公費投入額は約20倍以上の差となっている。どこの自治体も同じような「金太郎飴」的な政策をやめ、在宅子育てを誘導する、例えば、児童手当の上乗せや家賃補助、子育てバウチャーの配付など「墨田区独自」の保育政策について検討すべきではないか。

答 保育所における保育と在宅子育ての支援にかける公費投入の不公平感が生じていることに関して、在宅子育て支援の一層の充実を図る必要があると認識している。今後児童館を中心とした子ども版地域包括センターを展開することによって、在宅の子育て支援を充実させていく。

在宅介護の充実を

問 施設介護の区費負担額は約7.5億円で、利用者１人あたりの区費投入額は年額約３６０万円となるが、訪問介護をみると、区費投入額は約16億円となり、利用者１人あたりの区費投入額は年額約42万円となり、約８倍の開きがある。次期介護保険事業計画では、介護予防及び在宅介護に更に重点を置き、施設介護に至らないように誘導する施策の充実こそが求められると考える。

答 今後の高齢者人口の動向を踏まえ、いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる平成37年を見据えつつ、地域包括ケアシステム構築、介護予防・日常生活支援総合事業の充実、介護人材の確保に向けた取組や、質の向上に向けた研修等を実施していく。

生活困窮者支援の充実を

問 平成27年度決算では、本区で生活保護受給者への公費負担総額は、約１６２億円で、うち区費負担額は約35億円となる。他方で、生活困窮者に対する支援事業は、就学援助を含めても、総額で区費負担額約４億円であり、区費負担額で９倍の開きがある。生活保護を受けることは国民の権利だが、いかに生活保護に至らないように、家計の改善や支援を行い、寄り添い支え、自立を促していくのかも重要だ。本区においては、生活困窮者自立支援法に基づく支援は区、応急的な貸付けは社会福祉協議会、債務整理など法的問題は法律事務所と、何か所も往復しなくてはならず、ただでさえ生活困窮に至っている区民にとっては大きな負担である。目の前の「人」に着目した一元的な支援の確立と支援の充実を求める。

答 「人」に着目した支援を行う上で、窓口のワンストップによる行政サービスの提供は、大変重要だ。前記事業が連携することにより区民サービスの向上につなげるよう検討する。平成29年度の同法の見直しに合わせて、生活困窮者支援対策の充実を図っていく。

学校図書館の蔵書の充実を

問 文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」によると、蔵書目標の達成率については、本区の区立小学校については、25校中５校が未達で達成率80％、公立中学校については、10校中９校が未達で達成率はわずか10％、23区で最下位である。教育委員会として文部科学省が定めた図書標準に基づいてしっかりと計画を立て、蔵書の充実を図り、達成率１００％を目指すべきである。

答 学校図書館の蔵書の充実は、学力向上や子どもの居場所づくりの一環として、有効なものであり、より充実させていく必要があると考えている。今後は、教育委員会として数年間で学校図書館図書標準を満たすことを目標に、計画を立てて、学校ごとの達成率を管理し、蔵書数の増加を図っていく。

［一般質問］

墨田区議会議員
松本 ひさし

●すみだ北斎美術館をプラットフォームとした新しい社会実験について

問 建設に当たり、多くの民間資金を獲得することができた要因は何か。この方法は今後の公共施設建設等に役立てるべきと考えるが、見解を。

答 寄付を展開するに当たり、美術館開館に向けた参加意識を醸成するなど、戦略を練った結果と考える。今後も民間資金の積極的な活用を図っていく。

問 アプリケーションを導入し、区政に関する情報の収集・分析に活かしてはどうか。

答 民間企業による新たなサービスの創出も期待できるので、他の自治体の事例を参考に、スマートフォン活用による情報収集など、新たなシステムの研究をしていきたい。

●大規模小売店舗の撤退・廃業について

問 大規模小売店舗の撤退・廃業による、失業者の発生及び買物の利便性低下、周辺環境の悪化を防ぐため、大規模小売店舗に一定の義務を課すべきではないか。

答 条例では大規模店に対し、地域での商業の持続的発展に寄与するよう努力義務を課しており、国や都などの動向を注視していきたい。

［一般質問］

墨田区議会議員
しもむら 緑

●国の制度改正及び新たな予算措置への対応について

無年金救済法／債権法／義務標準法／耐震改修の上乗せ補助金／特別養護老人ホームの運営主体の規制緩和／都市公園法

●女性の防災対策について

●教育に関する福祉施策について

問 国は、民間事業者においてカフェ等を設置する場合の期間延長や、整備助成制度創設の方針を打ち出している。本区も、隅田公園などで賑わいを創出する施策が検討できないか。

答 国の動きを注視しながら、回遊性向上を計画している隅田公園をはじめ、都市公園の魅力向上に向け検討していく。

問 公園でのボール遊び解禁を。新設の公園から、先ず検討してほしい

答 公園・広場の新設や改修時には地域的なバランスも考慮の上、幅広い年齢層からも意見を伺い、ボール遊びの設置を検討する。現在、京成押上線高架化で生まれたスペースに整備を検討している。

問 奨学金制度や、教育の機会均等を図る福祉施策について、制度を知らずに夢を諦める子ども達がいてはいけない。一覧表を作成し、全教職員へ情報提供を行い、指導を徹底してもらいたい。

答 わかりやすく取りまとめて、全教職員へ情報提供を行い、児童・生徒の保護者に確実に伝わるように進める。

上記は要約版です。代表質問・一般質問の全文は墨田区議会自由民主党Webサイトをご覧下さい。 **http://jimin-sumida.jp/**

＜平成27年度決算特別委員会が開催されました＞

10月21日～11月9日　平成27年度決算（一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）を審査する平成27年度決算特別委員会が中沢えみり委員長の下、開会されました。

［意見開陳の要旨］

財政について

特別区税が前年度と比べて3.1%増加、特別区交付金は前年度と比べて2.6%増加、財政指標では、経常収支・実質収支とも黒字決算で、一般会計では過去最大となりました。財政調整基金、公共施設整備基金の合計が100億円を超え、計画的な財政運営への第一歩となりました。しかし経常収支比率は、依然として83.3%で、23区平均と比べて厳しい数字で、義務的経費が一般財源を圧迫する硬直化した区財政が続いています。

今後はより一層の行財政のスリム化と同時に、担税力の高い区民の転入促進、定住促進等、戦略的側面からの政策を求めます。

資産については、資産老朽化指数が64.1%と上昇を続けており、確実に公共施設等の老朽化が進んでいます。

公共施設や学校跡地は、狭小な本区においては貴重な空間です。「墨田区公共施設等総合管理計画」に基づき、将来の大規模改修に向け、基金の積み増し等の努力と合わせて、計画的な整理統合、民間事業者の活用、売却等も視野に入れ、柔軟なあり方を検討することを求めます。

区政の重要課題について

平成27年度は、前基本計画の最終年度で、3つのリーディングプロジェクト（防災対策・子育てと高齢者施策・観光対策）に、予算の重点配分がなされました。そのことを踏まえ、わが会派は以下の内容を強く求めました。

＜防災対策＞

●「燃えない・壊れないまちづくり」の、ハード面の整備において、「不燃化特区」では、住民との合意形成が困難で、面的整備が進んでいません。北部地域の不燃化率や耐震化率の向上は喫緊の課題であり、エリアの拡大と助成額増額等の取組を強く求めます。

＜子育て施策＞

●「墨田区子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画的な支援量の拡大と質の向上が図られましたが、今後更なる創意工夫による仕組みの改善等を行い、保護者、職員双方の「保活ストレスの解消」への取り組みを求めます。

引き続き待機児童解消施策への最大限の努力、さらには全国的に大きな問題に発展した「保育士不足」には、区独自の施策を行う等、待機児童ゼロに向け、更なる努力を求めます。加えて「在宅での子育て支援」について特に力を注ぐよう求めます。

＜高齢者施策＞

●平成37年に向け、高齢者の方々が、地域でいきいきと暮らしていける環境を整えることが重要であるため、高齢者が地域支援事業や、介護予防サービス事業によって元気に生活し、介護が必要となっても住み慣れた土地で、尊厳を持って過ごせるよう、切れ目のない支援と施策をあらためて求めます。

＜障害者施策＞

●福祉における障害者施策では、「障害者差別解消法」を十分踏まえた取組を要望します。

＜観光施策＞

●今後も「すみだ北斎美術館」や「東京オリンピックパラリンピック」開催へ向けた早急な受け入れ体制づくりを求め、訪日外国人旅行者が快適に本区で過ごせるおもてなしや、都との連携、観光協会や民間事業者の支援を進めながら、増え続ける違法民泊など、区民の安全安心の面からも、区として実態把握と対策の強化を求めます。

＜平和教育＞

● 27年度は「終戦70周年平和祈念事業」が行われました。私たちは都と連携し、メモリアルパークである横網町公園と園内施設を率先して活用するなど、本区ならではの平和教育と、観光の融合を、目指すべきであるとあらためて求めました。

＜教育について＞

●教育環境の整備については、学力向上、いじめ、不登校問題等の課題について、全力で取り組み、目に見える結果を出すことを要望しました。

＜職員の育成＞

●事務事業に関する「節約」が、事務処理方針で通達されましたが、職員が見聞を広めることなど、人材育成をすることの抑制につながらないようにしていただきたい。そして職員がプロフェッショナル、ジェネラリストとしてアンテナを張り、本区の将来のため、今の一歩先、二歩先を見据えて行動できる環境を整えることを切に求めます。

（写真左より）福田はるみ委員・田中邦友委員・加藤拓委員・沖山仁委員・しもむら緑委員による活発な議論。委員以外も資料収集等で活躍しました。

（写真左より）坂下議長・中沢委員長・浜田議会事務局長・坂井副委員長。中沢委員長はスムーズな議事運営に努めました。坂井副委員長は委員長を補佐しながら、質問も行いました。

第四回定例会常任委員会トピック

企画総務委員会

旧西吾嬬小学校・旧曳舟中学校跡地に誘致予定の大学について、現在前向きに交渉中であることが報告されました。質疑の中で年度内に決定したい旨の答弁がありました。

区民文教委員会

本所地域プラザの指定管理者の指定等の議案が審議されました。報告事項として、すみだ北斎美術館の開館後の状況や、すみだ教育指針の素案等が報告されました。

福祉保健委員会

家庭センター跡地に、待機児童解消に向けて、想定定員120名の保育施設の整備計画が示されました。また平成 30年度開設の仮称「こども未来館」の進捗状況が報告されました。

産業都市委員会

新設「墨田区分譲マンションの適正管理に関する条例」を重点質疑。分譲マンション適正管理による安全・安心な居住環境や市街地の環境保護への寄与を確認して、可決しました。

大瀬議員の発言で区議会が中断

平成28年12月9日の本会議における、墨田オンブズマン大瀬康介議員の反対討論の中で、松島みどり衆議院議員の資金管理団体である「みどり会」から松島みどり本人への約130万円の寄付金支出は、政治資金規正法違反であるかのような指摘がありました。この指摘に対して、急遽、休憩動議を行い、本会議を休憩し、関係者への事実確認及び総務省への照会を行った結果、違法の事実はなく、法に従った適正な処理であることが分かりました。休憩後ただちに、自民党として「法律の解釈を誤り、あたかも違法な事実があるかのような、このような言動は、区民を騙し、無用な混乱に陥れるものであり、議会人として恥ずべき、厳に慎むべき言動」と指摘した上で賛成討論を行いました。

新年明けましておめでとうございます

年賀状など時候の挨拶状は、公職選挙法により禁止されておりますので、本紙上をもって新年のご挨拶とさせていただきます。

木内 清

今 動く 清心・実行・実績

区民の意見をしっかり吸収して、わが主張は最短解決そして全力。満足感ある生活を!活気ある下町実現!

- 政務調査部会副部会長
- 産業都市委員会委員長
- 観光対策等調査特別委員会委員

✉ 本所二丁目10番7号401号
☎ 03-3624-8235

坂下 修

山本新区長と共にすみだの夢実現へ

いま、喫緊の課題となっている、子育て支援、高齢者対策に全力を尽くし、一層の行政改革に取り組んで参ります。

- 墨田区議会議長
- 福祉保健委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

✉ 向島三丁目18番10号
☎ 03-3625-1810

瀧澤 良仁

区民生活が第一

子育て支援・障害者・高齢者等、区民生活を拡充し、安心して暮らしていける活気ある環境づくりを区民主体の目線で進めてまいります。

- 政務調査部会相談役
- 区民文教委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員長

✉ 墨田五丁目33番4号
☎ 03-3611-4003

樋口 敏郎

笑顔で暮らせるまちづくり

安全、安心して「笑顔で暮らせるまち」すみだになるよう全力で取り組んでいきます。良い年をお祈り申し上げます。

- 企画総務委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

✉ 八広三丁目6番3号
☎ 03-3617-4129

沖山 仁

必ず成功する・・・

必ず成功する雨乞いがあります。それは雨が降るまでやめないこと。本年も区政に邁進するとともに、初詣で区民の幸せ乞いもします。

- 幹事長・議会運営委員会委員長
- 区民文教委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

✉ 京島一丁目39番1号918号室
☎ 03-3617-6558

田中 邦友

夢と希望の持てる墨田区を！

観光振興プランの着実な推進を図り、地域力の向上による「区民が主役の区政」をめざして取り組んで参ります。

- 広報部会副部会長
- 企画総務委員会委員長
- 観光対策等調査特別委員会委員

✉ 八広一丁目39番17号
☎ 03-3616-7014

加藤 拓

今年もよろしくお願いします

引き続き皆様のご意見をいただきながら区政の課題に取り組みます。 区の将来につながる提案をしていきます。

- 区民文教委員会副委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

✉ 緑一丁目2番12号503号室
☎ 050-1334-9640

中沢 えみり

豊かな教育環境すみだに向けて

教育と芸術文化の充実を目指し、真の国際観光都市すみだの構築に向け豊かな環境創りに今年も元気に邁進いたします!

- 副幹事長・広報部会長・議会運営委員会委員
- 福祉保健委員会副委員長
- 観光対策等調査特別委員会委員
- 決算特別委員会委員長

✉ 堤通一丁目5番9号
☎ 080-5008-9930

福田 はるみ

スマイルすみだ 笑う門に福、春来る

皆様がお元気に 生き生きと 笑顔で過ごせる、素晴らしい一年となります様にお祈りしています。

- 福祉保健委員会委員
- 観光対策等調査特別委員会委員

✉ 業平四丁目5番16号
☎ 03-3618-6125

坂井 ユカコ

さらに情報発信に努めます

会派報の読み心地は如何ですか?
本年も生活に密着した優しい区政・身近な区政・わかりやすい区政を目指してまいります。

- 産業都市委員会委員
- 観光対策等調査特別委員会委員
- 決算特別委員会副委員長
- 編集長

✉ 東駒形二丁目2番4号
☎ 03-3622-7063

松本 ひさし

身近な政治家であり続けたい

昨年 10 回開催した「区政報告会」を今年も継続し、「身近な政治家」という、皆様への約束を果たして参ります。

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 産業都市委員会副委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

✉ 太平三丁目12番11号1F
☎ 03-3622-8021

佐藤 篤

未来への投資

旧西吾嬬小・曳舟中跡地への大学誘致を実現し、よりよい教育環境の整備と地域活性化に全力を尽くします。

- 副幹事長・政務調査部会長・議会運営委員会委員
- 企画総務委員会副委員長
- 行財政改革等特別委員会委員

✉ 京島三丁目18番4号
☎ 090-8567-8293

しもむら 緑

終身の計は人を樹うるに如くはなし

すべての子どもが、未来への明るい希望が持て、夢を実現させることができる社会の構築を目指します!!

- 企画総務委員会委員
- 行財政改革等特別委員会副委員長

✉ 亀沢四丁目22番8号608号室
☎ 080-2443-0212

ホームページもチェック! http://jimin-sumida.jp/ 墨田区議会自由民主党